

株式会社シナノ 製品安全対策について



2014年3月5日

会社紹介

株式会社シナノ



- ◆ 所在地 長野県佐久市岩村田
- ◆ 代表取締役社長 柳澤 光宏
- ◆ 社員数 40名
- ◆ 創業 1919年

取扱商品 ①スキーポール



取扱商品 ②トレッキングポール



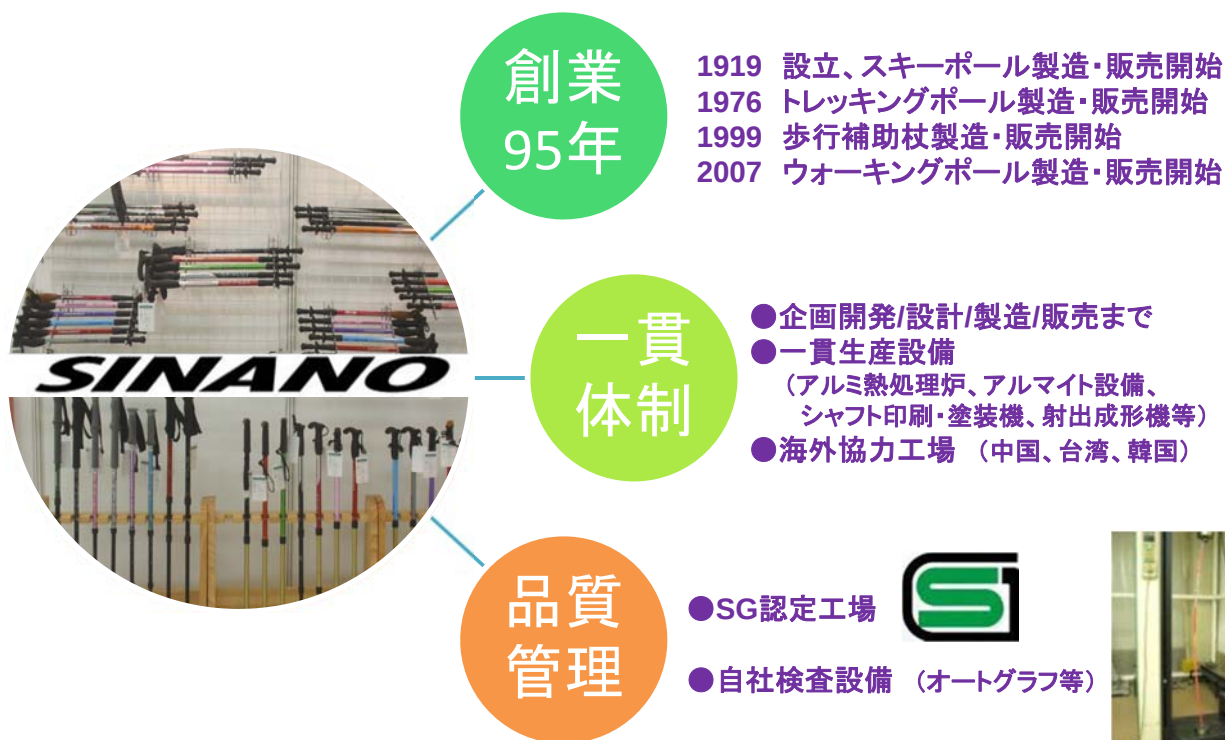
取扱商品 ③歩行補助杖



取扱商品 ④ウォーキングポール



95年の歴史、一貫生産と徹底した品質管理が、**SINANO**
SINANO ブランドを支えています。



SINANO
ポール技術で*Walking Life*を支えます。



弊社は創業以来、支える技術を磨いてきました。SINANOの強みは握り易さを考え、強度を考え、身体を支えるポール技術を持っていることです。

スキーポール、トレッキングポール、歩行杖、ウォーキングポールなどすべての商品を通して、レジャーやスポーツによる健康という心と身体の豊かなWalking Lifeを提案し、支えています。



お客様の声を大切にした製品開発。



当社では、実際にご使用になるお客様から直接ご意見を伺い、提案されたご意見を検証し、即形に置き換え、とことん、納得のゆくまで追求します。そしてご使用されるお客様の身になった、独自な商品開発を進めています。



製品安全対策優良企業表彰について

2013 製品安全対策優良企業表彰 中小企業 製造・輸入事業者部門 「商務流通保安審議官賞」を受賞

受賞ポイント

- ① 社外専任モニターを活用した製品開発及び試験基準の策定
- ② リコールなどの実効性を高める取組み
- ③ Walking Life を支える為の取組みの一環として製品を安全に使用してもらう為の情報を発信

受賞ポイント1

社外専任モニターを活用した製品開発及び試験基準の策定



A 製品の社内安全基準を定めテスト

SG規格では静的強度確認のみ ➡ 動的テストで強度等を確認

使用時の**破壊強度**確認
(SGでは一定荷重で実用上の支障がなければOK)

使用時の荷重で**繰り返し荷重**確認(疲労試験)

杖先ゴム等の耐候性(老化ひび割れ等の確認)

杖先ゴム等の摩擦係数確認
(水に濡れたタイル上・氷上・傾斜面でのすべり)

ストラップの破壊荷重確認(挟まれた時等の離脱荷重)

B 公的機関での安全性確認

長野県工業技術総合センターとの連携

- ・お客様からの修理品で破損部の原因調査依頼
- ・社内では出来ない製品強度確認と材質分析等
(社内にはない試験設備等)
- ・疲労試験器等開発相談
(新規開発商品の試験方法等相談)
- ・安全性について技術相談(材料強度や素材選定)

C 社外モニターでのリスク洗い出し

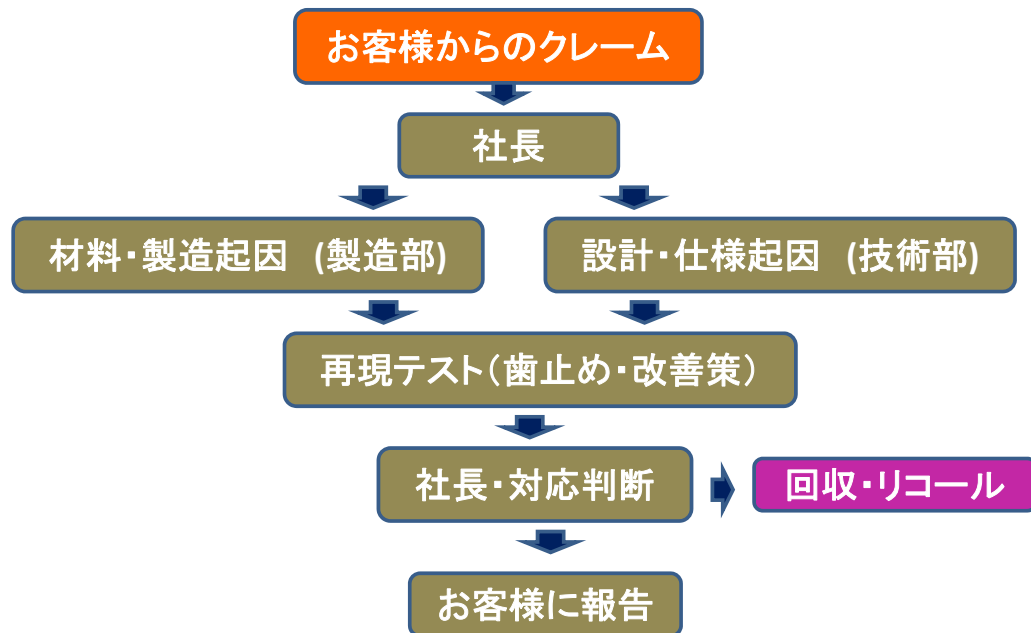
試作品・製品を社外モニターに使用依頼しリスクの洗い出し

モニターの依頼先

- ・補助杖
(病院・介護施設・外科医・理学療法士・補助杖を使用する個人)
- ・トレッキングポール
(取引先スポーツ店・登山スクール・個人)
- ・SKIポール(契約選手・SKIスクール・インストラクター・個人)

リコールなどの実効性を高める取組 1

社外で発生したクレームは、すべて発生原因ごとに分類し再現テストで確認後、対応・対策を確実に実行



リコールなどの実効性を高める取組 2

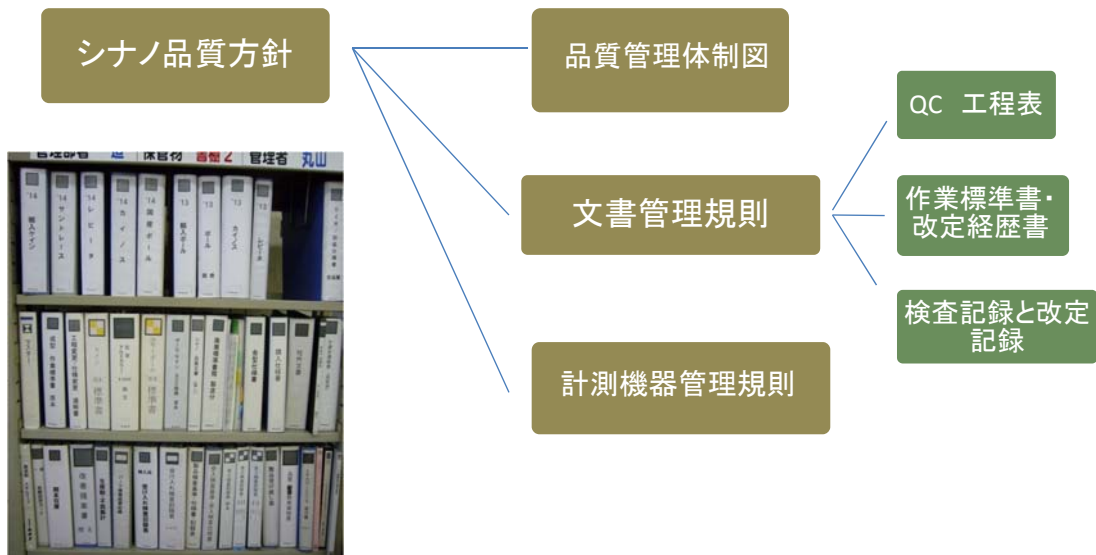
お客様からの修理品についての対応

当社に修理依頼で送られてくる製品に元々の設計上・製造上の不具合の可能性はあるか2か所の関所で見逃さない



リコールなどの実効性を高める取組 3

生産に関わる履歴は10年間・
出荷に関わる履歴も10年間調べる事が出来る。



受賞ポイント 3

製品を安全に使用してもらう為の情報発信 1



製品を安全に使用してもらう為の情報発信 2

・4つの媒体で情報発信



ホーム
ページ利
用（ネッ
トで配信）

Youtube
の利用
（動画で配
信）



漫画冊
子利用

取扱い説
明書（紙
面で配信）



製品を安全に使用してもらう為の情報発信 3

・小冊子等で情報発信

自分に適した商品選択方法・正しい使用方法・安全な使用方法等を分かりやすく紹介しています。



製品を安全に使用してもらう為の情報発信 4



・講習会を開催し情報発信

・全国の客先や団体を訪問し
ウォーキング講習会の開催

・取引先の介護用品研修会で製品
の正しい選択方法・使用方法を説明

応募を振り返り

・応募のきっかけ

- ・長野県工業技術総合センターからの紹介
- ・社外からの客観的視点で現状を評価

・応募して良かった点

- ・社内製品安全対策の方法・手順と資料を一括にまとめ
再確認する事が出来た。
- ・現地ヒヤリングで審査委員の方に客観的に評価していただけた。

・審査準備で工夫した点・苦労した点

- ・プレゼン資料作成にあたり、製品安全の情報発信する
取組み(ネット配信・お客様相談室・漫画冊子等)をどのよう
にアピールするかパワーポイントの資料を工夫しました。

受賞後の影響・効果・社内外の反響

- ・受賞した事により社員の製品安全に対する重要性の再確認と製品安全の取組みについての意識がさらに高くなりました。
- ・シナノ独自の取組みに対して自信を持つようになりました。

今後の取組み

- ・引き続き、商品を“安全”に“長く愛用”いただけるように、使用方法やメンテナンスなどの講習会を開催していきます。
- ・取扱店店員様向けに商品ごとの安全基準の講習会を開催します。
- ・審査委員からのアドバイス項目に対する対応
長年の経験・ノウハウの再整理と「見える化」を進めていきます。
(各製品ごとの設計思想など)

受賞PR/ロゴ活用例

展示会で使用するバナー



展示会で着用するバッチ



名刺

プレスリリース



・受賞PR/ロゴ活用例

長野新幹線 佐久平駅ホームへの企業広告に受賞をアピール予定



ポール技術で *Walking Life* を支えます



<https://www.facebook.com/sinanopole>

<http://www.sinano.co.jp/>